

会長賞	受賞者名	前田・大豊・森本・中村・今林 建設工事共同企業体 舞鶴小中学校作業所
	所在地	福岡県福岡市
	受賞テーマ	作業所近隣環境に根ざした 3R 活動 ～限りある資源と太陽の恵み～
<p>同作業所は、福岡市施設整備公社が区内の 4 校を統合し、新たな小中連携校の新築校舎を発注した案件であり、2014 年 4 月の開校に向けて近隣住民の期待を受けた建設工事である。このように近隣地区の高い注目を背景としているため、環境に配慮した活動や工法を、発注者である福岡市施設整備公社に積極的に提案し、実践してきた。</p> <p>●『リデュース』活動</p> <p>【水使用量の削減対策】</p> <p>掘削工事に伴う鋼矢板打設においては、水使用量の削減対策を実施した。水道技術研究センターの H19 年度データによると、福岡県は、[年間給水量/人口]が各主要都市中最低値を示し、水資源の有効活用を推進している。同工事では、地下外周部に長さ 17m の鋼矢板を設置するため、ウォータージェット併用の圧入工法を採用した。この施工にあたって、現場内に設置した 5 台のディープウェルから汲み上げた揚水を使用することにより、工用上水の使用量を削減した。</p> <p>【CO<sub>2</sub> 排出量の削減対策など】</p> <p>約 10,000 m<sup>3</sup> の杭コンクリートに高炉セメントコンクリートを使用することにより、副次物（高炉スラグ）の再利用や、セメント製造時の CO<sub>2</sub> 排出量の抑制にも寄与できた。さらに、現場敷地周辺の夜間の防犯対策として総延長約 500m の仮囲外周に 50 台の外灯を設置し、これに太陽光発電と LED 照明器具を採用した。2013 年 5 月 9 日時点で 1,744 kwh の節電効果を得ている。</p> <p>●『リユース』活動</p> <p>今後着手する仕上げ工事の資材搬入と場内運搬において、通い箱とパレットを使用し資機材の再使用活動を推進する予定である。</p> <p>●『リサイクル』活動</p> <p>杭工事等で発生する 12,149.5 t の建設汚泥をリサイクル施設に運搬し、流動化処理土として再資源化して、同工事で使用する埋め戻し土 (3,526 m<sup>3</sup>) に一部使用した。杭頭処理で発生したコンクリート塊については、リサイクル施設で再生砕石として処理し、工事に使用する砕石として再利用した。</p> <p>また現場場内には、廃棄物を 17 種類に分別する集積場を設置し、JV と処理業者による分別パトロールを定期的を実施することで、再資源化率を高めている。（現在再資源化率 99.4%）</p> <p>事務所の CSR 活動として、ペットボトルキャップの回収活動（2013 年 4 月迄で 22,046 個をエコキャップ推進協会へ送付）にも、JV、協力会社一体となって取り組んでいる。</p> <p>これらの活動を作業員全員に浸透・定着させるため、新規入場者には、上記環境活動を徹底するように教育している。さらに、学生や業界団体等の現場見学会・研修会（2013 年 4 月迄計 172 名）では、上記の 3R 活動や社会貢献活動も紹介し、同作業所からの情報発信にも尽力している。</p>		
		 <p>九州大学 見学会</p>